

Sun™ SPARC® Enterprise T5240 Server



128スレッド／128GBメモリ／HDD×16台の
超高密度2Uサーバ



Highlights

- "System on a Chip" (SoC)を具現化した第3世代のプロセッサ UltraSPARC® T2 Plus搭載のデュアル・ソケット・サーバ。コンパクトな高さ2Uの筐体で最大128の演算スレッドを提供
- 世界最高水準のスループット／画期的なエネルギー効率と省スペース性／1ワットあたりの卓越したパフォーマンスを費用対効果に優れた価格で実現
- 最大128GBの大容量メモリと最大16台もの内蔵ディスク
- 柔軟性を備え、コストを必要としないオープンソースの仮想化テクノロジーを統合し、理想的な仮想化／統合化プラットフォームを実現
- Cryptographicアクセラレータ(暗号化処理機構)のオンチップ化と、オンボードの10 Gigabit Ethernetで、セキュアな演算環境と高速なネットワーク環境を実現
- オープンソース・テクノロジーとオープン・スタンダードに基づいて開発された、業界で最もオープンなプラットフォーム
- 業界規格に基づいたシステム管理ツールと追加コストを必要としない開発／実装ツールを提供し、極めて低コストに、市場への迅速な対応が可能
- 徹底した統合化とシンプルな設計でパーツの点数を削減し、圧倒的な水準の信頼性とアップタイムを実現
- 最適な省エネルギー性と仮想環境を実現

高さ2Uの筐体に最大128の演算スレッドと優れた拡張性、そして業界最高水準のセキュリティ／仮想化対応／可用性を実現した、世界で最も進化した超高密度サーバをご紹介します。Sun SPARC Enterprise T5240は世界最高水準のスループット／画期的なエネルギー効率と省スペース性／1ワットあたりの卓越したパフォーマンスを費用対効果に優れた価格で提供する、あらゆる面で秀でたサーバです。Sun SPARC Enterprise T5240は、絶え間なく拡張を続けるアプリケーション・サービスへの対応と運用コストの大幅な削減を同時に実現し、企業が更に迅速に市場に対応できるようにすることで、その競争力を高めます。

Sun SPARC Enterprise T5240は"System on a Chip" (SoC)を具現化した第3世代のプロセッサ UltraSPARC® T2 Plusを採用し、最大128の演算スレッドを提供できるデュアル・ソケット・サーバで、業界で最も進化したオープンなSolaris™ 10 OSを搭載しています。各プロセッサは、演算／セキュリティ／I/Oというシステムが必要とする主要な機能と共に、最大8つのCPUコアで、64(システム最大128)の演算スレッドを同時に処理可能です。そして、最大128GBメモリ、内蔵ハードディスク・ドライブ最大16台、6スロットのPCI Expressを高さ2Uの筐体で提供します。Sunのイノベーションが可能にしたプロセッサとシステム・レベル両方での統合化が、非常に少ない部品点数を可能にしたことで、障害の発生が可能な限り最小限に抑えられています。

Sun SPARC Enterprise T5240は、柔軟性を備え、コストを必要としないオープンソースの仮想化テクノロジーを統合し、Solaris ContainersとSun Logical

Domains (LDoms)といった選択肢と共に提供しています。サーバ毎で最大128の分割したドメインを確保でき、大規模な仮想化／統合化環境を提供できます。各動作領域毎では、異なるOSと異なるアプリケーションが各々独立して動作し、データセンター内に、またはデータセンター毎に分散配置されている異なる小規模サーバを統合する際に、LDomsはその効力を最も発揮します。

データセンターの電力／スペース／冷却を最適化するSun Eco Services Suiteや、統合化／仮想化プロジェクトを支援するSunのサービス・ソリューションをSun SPARC Enterprise T5240の導入と合わせて利用すれば、投資回収率を最大化することができます。また、SunではSolaris 10 OSへのアップグレード／マイグレーションを支援するサービス・ソリューションも提供しています。Solaris 10 OSのサポート・サービスを利用することで、最新のOSアップデート／OSリリース／ソフトウェア・アップデートなどのサポートを受けることができます。

Sun SPARC Enterprise T5240 Server

Sun SPARC Enterprise T5240 Serverの仕様

プロセッサ	アーキテクチャ プロセッサ種別*1 プロセッサ数	SPARC V9 1.2GHz UltraSPARC T2 Plus 2		1.4GHz UltraSPARC T2 Plus
	標準 コア数/スレッド数 (システムあたり)	(6/48)×2	(8/64)×2	
メモリ	2次キャッシュ(システムあたり)	4MB×2		
	メインメモリ	DDR2-667 registered FB-DIMM ECC/拡張ECC*2		
	スロット数	32*3		
	標準容量	8GB(1GB×8)	32GB(2GB×16)	64GB(4GB×16)
	最大容量	128GB(4GB×32)		
	増設単位	1GB / 2GB / 4GBのFB-DIMMを8 / 16 / 24 / 32スロット単位		
システム内蔵 記憶装置	ハードディスク・ ドライブ	種別 標準	接続:SAS, 2.5inch, ホットプラグ対応, 73GB(10,000回転) / 73GB(15,000回転) / 146GB(10,000回転)	
		最大	146GB×2	
	リムーバブル記憶装置(標準)	SAS 146GB(10,000回転)×8		
			SAS 146GB(10,000回転)×16*4	SAS 146GB(10,000回転)×8
標準統合 インタフェース	Ethernet	CD-RW / DVD-RW×1		
	シリアル	10BASE-T / 100BASE-TX / 1000BASE-T×4 (RJ45)		
	USB	RS232C×1 (DB9)		
	PCI拡張スロット	USB 2.0×4		
	PCI Express(x8)	1(ロープロファイル / MD2, コネクタ形状(x16))		
	PCI Express(x8)	3(ロープロファイル / MD2)		
	PCI Express(x8)	2(ロープロファイル / MD2)*4		
ネットワーク 管理機能	ILOM	10BASE-T / 100BASE-TX×1 (RJ45)		
主なRAS機能	シリアル	RS232C×1 (RJ45, モデム接続不可)		
電源		ホットプラグ対応ディスクドライブ、ホットスワップ対応冗長電源、ホットスワップに対応した最大6つのシステム・ファン・モジュール、ECC機能、ほとんどのコンポーネントが容易に交換可能な構造、RAID 0, 1 サポート		
	100V 電圧利用時	200V 電圧利用時		
	定格電圧	100~120V	200~240V	
	定格周波数	50~60Hz	50~60Hz	
	定格電流	12A@100V	7.2A@200V	
	入力電流	12A@100V	7.2A@200V	
	消費電力*5	1,200VA 1,140W	1,440VA 1,370W	
	発熱量	3,890BTU/時 981kcal/時 4,110kJ/時	4,680BTU/時 1,180kcal/時 4,940kJ/時	
	台数	2台		
省エネ法に基づくエネルギー消費効率*6		0.0267W/MTOPS	0.0201 W/MTOPS	0.0194W/MTOPS
寸法(突起物を含まず)と重量	幅 / 奥行 / 高さ / 最大重量	42.5cm / 71.4cm / 8.8cm (2U) / 23.9kg		
動作環境	温度	動作時 / 非動作時 5°C ~ 35°C*7 / -40°C ~ 65°C		
	湿度(結露しないこと)	動作時 / 非動作時 10% ~ 90% RH / 93% RH		
	高度	動作時 / 非動作時 3,000m / 12,000m		
	振動	動作時 0.10G, 5~500Hz(正弦波振動, XY軸) 0.15G, 5~500Hz(正弦波振動, Z軸)		
		非動作時 0.25G, 5~500Hz(正弦波振動, XY軸) 0.5G, 5~500Hz(正弦波振動, Z軸)		
	衝撃	動作時 / 非動作時 3G, 11ms(正弦波, 全方向) / 1inch Roll-Off testing, 20mm Step-up Threshold testing		
	騒音	動作時 / アイドリング時 7.7bels / 7.7bels		
主な準拠規格*8	下記の条件に適合またはこれを上回る	安全性 UL60950, EN60950, 他 EN55022 Class A, VCCI Class A, 他 RFI / EMI EN55024, 他 イミュニティ EN55022		
オペレーティングシステム		Solaris 10 OS 8/07以降の各リリース(Solaris 10 OS 8/07/インストーラ)		
主なソフトウェア(プリロード)		Sun Java™ Enterprise System 5(90日評価版), Sun Logical Domains Manager, Sun Logical Domains MIB, Sun Studio 12, GCC for SPARC Systems, CMT Developer Tools		
ラックマウント 推奨サーバ用途		本体添付のスライドレールキットによりSun Rack 900-38 / Sun Rack 1000-38 / Sun Rack 1000-42, 4ポストで前後の支柱の取付間隔が610mm~915mmのEIA310-D準拠の19inchラックに設置可能 仮想化 / 統合化、大容量データを扱うアプリケーション、セキュリティ・アプリケーション、Webアプリケーション、ミドルウェア運用、Javaアプリケーション運用、OLTPデータベース、大規模な命令セットとデータセットを扱うマルチスレッドHPCワークロード、最新のWebサービス開発、SOA基盤、メモリとハードディスクドライブの拡張性を要する用途		

*1 実機における表示動作クロックは、1.2GHzが1.167GHz、1.4GHzが1.417GHzです。

*2 拡張ECCは、2GB/4GB FB-DIMM利用時のみサポートされます。

*3 メモリ・マザーボード・アセンブリの利用時における最大搭載容量です。

*4 マザーボード上に搭載されるオンボード10Gigabit Ethernetを使用するためのXAUIアダプタ用指定スロット。なお、オンボード上の10Gigabit Ethernetと10/100/1000Mbps Ethernetは、同一コントローラにより制御されるため、10 Gigabit Ethernetを1ポート利用時にはNEToが、2ポートの利用時にはNEToとNET1が無効化されますので、ご注意ください。

*5 定格電流を基にした最大値です。

*6 エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定した消費電力を、省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。

*7 海拔高度900mを超える環境では、300mの高度上昇に伴い温度上限値が1°C減少します。

*8 適合している規格の中から、代表的なものを記載しています。

最新の情報については、<http://jp.sun.com/t5240/>をご覧ください。本製品の保証内容の詳細については、<http://jp.sun.com/service/support/warranty/>をご覧ください。

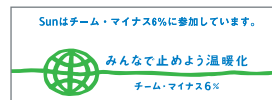
サン・マイクロシステムズ株式会社

本社	〒158-8633 東京都世田谷区用賀4-10-1	SBSタワー	電話 (03) 5717-5000 (代)
山王オフィス	〒100-6160 東京都千代田区永田町2-11-1	山王パークタワー12F	電話 (03) 4232-2400 (代)
神宮前オフィス	〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-4-11		電話 (03) 5843-1100 (代)
名古屋支社	〒460-0008 名古屋市中区栄3-7-22	栄928ビル6F	電話 (052) 264-4611 (代)
大阪支社	〒541-0052 大阪府中央区安土町1-8-15	野村不動産大阪ビル5F	電話 (06) 6265-5700 (代)
九州支社	〒814-0001 福岡市早良区百道浜2-1-22	福岡SRPセンタービル3F 308	電話 (092) 834-0101 (代)
つくば営業所	〒305-0032 茨城県つくば市竹園1-6-1	つくば三井ビルディング11F	電話 (0298) 51-2210 (代)
豊田営業所	〒471-0833 愛知県豊田市山之手5-73-1	山之手ビル7F	電話 (0565) 25-5701 (代)
ホームページ	http://jp.sun.com/		

Sun Microsystems, Inc. 4150 Network Circle, Santa Clara, CA 95054 USA Phone 1-650-960-1300 or 1-800-555-9SUN Web sun.com

© 2008 Sun Microsystems, Inc. All rights reserved. ●Sun, Sun Microsystems, Sunのロゴマーク, Solaris, Solarisのロゴマーク, Javaは、米国Sun Microsystems, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。●すべてのSPARC商標は、米国SPARCInternational, Inc.のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC商標がついた製品は、米国Sun Microsystems, Inc.が開発したアーキテクチャに基づいたものです。

資料の内容は、お断りなしに変更することもありますのでご了承ください。



本誌は植林・森林認証取得木材および古紙/ハルプ配合による再生紙と「大豆インク」を使用しています。

